

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルへの道Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	吉田亜紀 加藤雅子	講師 プロフィール	吉田:本校卒業後、美容師として勤めたのちにヘアセットの道へ。 様々なジャンルのヘアセットをしながら講師として戻り現在に至る。 加藤:札幌大学で英語と中国語を学ぶ。卒業後、中国広東省の大学日本語学科にて専 属講師として勤める。日本へ帰国後、一般企業に務めた後、現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
目標に向けて業界の基礎知識を学び、身構え、気構え、心構えを身に付け就職内定に繋げる。 社会人の仕組みやマナーを理解し、多様な人々と仕事をしていくための必要な基礎力、対応力を身に付ける。									
【学習内容】									
就職活動についてのマナーや具体的なビジョンをグループディスカッションを通して考え、行動する。 社会の仕組みや働くという事を仕組みやマナー・業界講義などからイメージし、目的を理解し、自身の目標を組み立てるようにする。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、ノート、授業プリントなど									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】 小テスト3 自分のなりたい姿を描き、卒業までの目標設定をすることができる ・自己紹介 ・自己分析シート ・目標設定 ・3つの原則 ・ITリテラシー ・ベルリン実行委員選出				⑨ (6/18)	【到達目標】 小テスト3 就職活動に向けて、身構え・気構え・心構えをする① ・職業講義和:トータルビューティーサロンオーナー灰谷様			
② (4/23)	【到達目標】 小テスト3 キャリアビジョンを明確にし、就職活動の流れやマナーを学ぶ① ・お礼状作成・書類送付の仕方 ・企業調べ ・自己PRを作成 ・就職状況確認 ・ITリテラシー ・生成AI				⑩ (6/25)	【到達目標】 小テスト2 地域清掃 ディスカッション			
③ (5/7)	【到達目標】 小テスト3 キャリアビジョンを明確にし、就職活動の流れやマナーを学ぶ② ・キャリアセンター 太田先生より就職講座 ・求人票の見方 ・給与、福利厚生について				⑪ (7/2)	【到達目標】 小テスト3 就職活動に向けて、身構え・気構え・心構えをする② ・就職状況確認 ・目標振り返り ・企業調べ			
④ (5/14)	【到達目標】 小テスト3 キャリアビジョンを明確にし、就職活動の流れやマナーを学ぶ③ ・GWの課題発表会 ・電話マナー 確認 ・お礼状作成 ・ベルリン協議案、アクト案を考える				⑫ (7/9)	【到達目標】 小テスト3 性教育セミナー			
⑤ (5/21)	【到達目標】 小テスト3 ・aura様 企業説明会 ・ハイパーQU 個人理解シート ・席替え				⑬ (7/16)	【到達目標】 小テスト3 就職活動に向けて、身構え・気構え・心構えをする③ ・夏休みの予定表作成（就活） ・席替え ・目標振り返り ・ベルコン:準備			
⑥ (5/28)	【到達目標】 小テスト3 キャリアビジョンを明確にし、就職活動の準備をする① ・自己分析シートを使い自己PRを考える				⑭ (8/20)	【到達目標】 小テスト3 ベルコン:準備			
⑦ (6/4)	【到達目標】 小テスト2 ・救命救急講習(姉妹校ハイテクより) キャリアビジョンを明確にし、就職活動の準備をする② ・目標振り返り				⑮ (8/27)	【定期試験】60 ベルコン:コンセプトシート作成 自己PRシート			
⑧ (6/11)	【到達目標】 小テスト3 ベルリン:出場選手を決める ・席替え				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
筆記用具とプロ道ファイルなど、忘れ物をしない									

講義シラバス									
科目名	ピックアップヘアメイクⅡ (海外メイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	鶴岡瑛子 蓮川まゆ 箱石結衣	講師 プロフィール	鶴岡：都内専門学校卒業後、フリーランスの特殊造型・特殊メイクスタッフとしてMVやCM、映画などに携わる。札幌へ拠点を移動後、広告美術やプロップなど特殊造型として活動する一方で、札幌ベルエポック美容専門学校にて特殊メイク実習に関わる。 蓮川・箱石：メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
専門的な特殊メイクの知識や技術を学び、自身のヘアメイクに関する価値観の幅を広げる。 自身のヘアメイクに関する知識や技術を応用できるようになり、どんな現場でも対応できる即戦力となる。									
【学習内容】									
特殊メイクの教材に触れ、表現の幅を広げる。 様々な専門的な技術を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、筆記用具 特殊メイク用品教材（プロスエイド、ソルブ、パテなど）									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4 / 14)	【到達目標】 オリエンテーション				⑨ (6/23)	【到達目標】小テスト3点 テーマにそったヘアメイクが出来るようになる one tone ヘアメイクを相モデル			
② (4 / 28)	【到達目標】 シェーディングについて				⑩ (6/30)	【到達目標】小テスト3点 テーマにそったヘアメイクが出来るようになる color combination ヘアメイク相モデル			
③ (5 / 12)	【到達目標】 プロスエイドメイク				⑪ (7/7)	【到達目標】小テスト3点 テーマにそったヘアメイクが出来るようになる glossy ヘアメイク 相モデル			
④ (5 / 19)	【到達目標】 プロスエイドメイク2				⑫ (7/14)	【到達目標】小テスト3点 テーマにそったヘアメイクが出来るようになる curve ヘアメイク 相モデル 夏休み			
⑤ (5 / 26)	【到達目標】 パテを使ったメイク				⑬ (8/18)	【到達目標】小テスト3点 テーマにそったヘアメイクが出来るようになる straight ヘアメイク 相モデル 夏休み明け			
⑥ (6 / 2)	【到達目標】 パテを使ったメイク2				⑭ (8/25)	【到達目標】小テスト3点 定期テスト用コンセプトシートの記入、テスト前練習 metallic ヘアメイク 相モデル			
⑦ (6 / 9)	【到達目標】 動物メイク				⑮ (9/1)	【定期試験】60点 【定期テスト】テーマに沿ったヘアメイク表現が出来るようになる metallic ヘアメイク 相モデル			
⑧ (6 / 16)	【到達目標】 ファンタジーメイク				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
プロとしての意識が持てるように心がける。 教材、名札などの忘れ物も減点対象とする。									

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラムⅢ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	箱石結衣 神敦子 穴戸優 本間乙葉	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
アシスタントとして仕事をする際のクライアントへの気配り、現場のマナーを身につける。 就職してからの心構えや実習前の準備をできるようになる。 業界で必要な知識と技術を身に付け、即戦力になるアシスタント力を学ぶ。									
【学習内容】									
アシスタントに必要な技術や知識を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画			日時	授業計画				
①	【到達目標】小テスト2点 シラバス説明、1年間現場を経験してみても足りない所・自分の強みを再確認。 改めて現場に合わせた道具の説明(外、雨・雪・室内、プライダル、撮影) それぞれの現場で必要とされるアシスタントについて説明。			⑨ (6/23)	【到達目標】小テスト3点 苦手なヘアスタイルをウィッグで練習				
②	【到達目標】小テスト2点 相モデルで根本からストレートにする事が出来る様になる			⑩ (6/30)	【到達目標】小テスト3点 テーマに合わせたヘアセットを時間内に2パターン作る				
③	【到達目標】小テスト3点 相モデルでま下巻きが出来る様になる			⑪ (7/7)	【到達目標】小テスト3点 テーマに合わせたヘアセットを時間内に2パターン作る				
④	【到達目標】小テスト3点 ハイボニーを綺麗に結べる様になる			⑫ (7/14)	【到達目標】小テスト3点 テーマに合わせたヘアセットを時間内に2パターン作る				
⑤	【到達目標】小テスト3点 1つのスタイルを2人で作る			⑬ (8/18)	【到達目標】小テスト3点 相モデルで撮影現場に合わせたヘアセット				
⑥	【到達目標】小テスト3点 巻きのダウンスタイル→ストレートのダウンスタイル			⑭ (8/25)	【到達目標】小テスト3点 相モデルで現場に合わせたヘアセット(定期テスト練習)				
⑦	【到達目標】小テスト3点 緩いアップスタイル→タイトなアップスタイル			⑮ (9/1)	【定期試験】60点 【定期テスト】相モデルで撮影現場に合わせたヘアセット				
⑧	【到達目標】小テスト3点 苦手なヘアスタイルをウィッグで練習			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	クリエイティブヘアメイクⅡ	必修選択の別	必修	開講区分	3S	授業形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	石川紗織 松本奏絵	講師プロフィール	三景スタジオを退社後、フリーランスに転向。 現在は、広告、映像、ブライダルなどのヘアメイクを担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
基礎力を更に強化させて応用できる力をつける 作品撮り・フォトコンテストなど、自身の表現をクリエイティブな方法で表現する技術を身につける									
【学習内容】									
撮影ヘアメイクの基礎を再確認する。 就職活動に向けて、作品をたくさん作る。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア・メイク道具、撮影ラフ									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (4/14)	【到達目標】 自分が得意なこと、好きなものを理解する			⑨ (6/23)	【到達目標】 作品作り				
② (4/21)	【到達目標】 モデルのイメージを変えるヘアメイクが出来る			⑩ (6/30)	【到達目標】 作品作り				
③ (5/12)	【到達目標】 補色を理解したヘアメイクを作ることが出来る			⑪ (7/7)	【到達目標】 作品作り				
④ (5/19)	【到達目標】 ヘアメイクにコントラストをつけることができる			⑫ (7/14)	【到達目標】 作品作り(提出)				
⑤ (5/26)	【到達目標】 スチール作品を作る 作品の構成、スケジュールを組み立てる			⑬ (8/18)	【到達目標】 企業広告のヘアメイクを考える(テスト練習)				
⑥ (6/2)	【到達目標】 スチール作品を作る 作品のヘアメイクデザイン、コーディネートを決める			⑭ (8/25)	【定期試験】60 企業広告のヘアメイクを考える				
⑦ (6/9)	【到達目標】 作品作り準備			⑮ (9/1)	【到達目標】 就職に向けて、自分の苦手なところを理解する				
⑧ (6/16)	【到達目標】 作品作り			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルメイクⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ番組・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
多彩な技術力と提案力を学び、現場で生かせるスキルを身に付ける。 色彩力を養い、メイクテクニックを身につけて多様なメイクに対応できる質の高い技術力向上ができる。									
【学習内容】									
メイクの技術だけでなく、接客業に携わるうえで大切なことを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具					・事前準備(授業前までに準備)・期日までに課題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】小テスト2点 クレンジング・マッサージをし春のトレンドメイクを相モデルへ行う				⑨ (6/24)	【到達目標】小テスト3点 様々なファッション、ヘアスタイルに合わせたメイクの提案・施術が出来るようになる			
② (4/22)	【到達目標】小テスト2点 艶肌の作り方・それに合わせたメイク				⑩ (7/1)	【到達目標】小テスト3点 脳科学・心理学講師『梅澤未来』先生による授業			
③ (5/13)	【到達目標】小テスト4点 成人式ヘアメイクサロンに向け練習				⑪ (7/8)	【到達目標】小テスト2点 フェイスチャートに色をのせカラーバランスやメイクのイメージをつける			
④ (5/20)	【到達目標】小テスト4点 成人式ヘアメイクサロン(岸田先生とのコラボ)				⑫ (7/15)	【到達目標】小テスト2点 フェイスチャートに色をのせカラーバランスやメイクのイメージをつける			
⑤ (5/27)	【到達目標】小テスト点 韓国アイドル風メイク(束感まつ毛)				⑬ (8/19)	【到達目標】小テスト3点 自分の就活用ヘアメイクをし撮影(カメラマン伊藤惇)			
⑥ (6/3)	【到達目標】小テスト2点 春夏秋冬をテーマにどんなメイクにするかコンセプトシートを完成させ練習				⑭ (8/26)	【到達目標】小テスト4点 定期試験対策授業			
⑦ (6/10)	【到達目標】小テスト3点 春夏秋冬をテーマに相モデルへメイクを行い発表する				⑮ (9/2)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (6/17)	【到達目標】小テスト4点 ミセスメイクの特徴・注意点・ポイントを知る				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルヘアⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	岸田知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティ・メイク専門学校卒業。美容師免許取得。卒業後、(株)田谷に入社。 ヘアセット歴17年。 フリーランスのヘアメイク・ヘアセット講師・着付け師として活動の場を広げています。						

【授業を通じての到達目標】

学んだヘアセットの基礎を活かし、様々なヘアセットに対応できる技術力を身につける
伝統的なものからトレンドまでを意識し多様なヘアスタイルを作り上げる事ができるようになる

【学習内容】

基礎から応用への繋がり。TPO を理解する。接客・カウンセリング・施術・サロンワークなどヘアセットを取り巻く、実践的な授業。

【使用教科書・教材・参考図書】

セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカール・ピン類
黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレーヘアア
イロン・テールコーム

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/16)	【到達目標】 【到達目標】 様々な夜会巻き/トレンドヘアアレンジ (小テスト3)	⑨ (6/18)	【到達目標】 【到達目標】和装 ヘアが仕上げられるようになる 和装ヘア2(かぶせ夜会の相モデル) (小テスト3)
② (4/23)	【到達目標】 【到達目標】短い長さ への対応のやり方がわかるようになる ミディアムウィッグのヘアスタイル1 (小テスト3)	⑩ (6/25)	【到達目標】トレンドのヘアアレンジが出来るようになる トレンドヘアアレンジ (小テスト2)
③ (5/7)	【到達目標】 【到達目標】ヘアメイクサロンに向けた練習 成人式ヘアメイクサロンのためのヘアアレンジ (小テスト3)	⑪ (7/2)	【到達目標】 【到達目標】動きのあるスタイルが理解できるようになる ねじりほぐしのテクニック1 低め (小テスト3)
④ (5/14)	【到達目標】 【到達目標】サロンワークを意識した動きがわかるようになる サロンワークを含めた成人式ヘアメイクサロンの練習 (小テスト3)	⑫ (7/9)	【到達目標】動きのあるスタイルができるようになる ねじりほぐしのテクニック2 高め (小テスト2)
⑤ (5/20) (火)	【到達目標】 【到達目標】サロンワークを通して技術もできるようになる 成人式ヘアメイクサロン (小テスト3)	⑬ (7/16)	【到達目標】 【到達目標】定期試験の内容が理解できるようになる カールのたっぷりあるヘア (小テスト3)
⑥ (5/28)	【到達目標】 【到達目標】ブローのやり方がわかるようになる ブロースタイル ウィッグ&相モデル (小テスト3)	⑭ (8/20)	【到達目標】 【到達目標】定期試験の内容が理解できるようになる 定期試験 練習 (小テスト3)
⑦ (6/4)	【到達目標】 【到達目標】短い長さ への対応ができるようになる。 ミディアム ウィッグのヘアスタイル2 (小テスト3)	⑮ (8/27)	【定期試験】60 定期試験 60点
⑧ (6/11)	【到達目標】 【到達目標】着物ヘアの特徴がわかるようになる 和装ヘア 1(ウィッグで抱き合わせ) (小テスト3)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
名札・必須道具などの忘れ物は、小テストよりマイナスとする。			

講義シラバス

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ (クリエイティブヘアスタイル)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	佐藤 由佳	講師 プロフィール	高校を卒業後すぐに美容室に勤めながら通信にて免許を取得後サロン経験を経てヘアセットサロンにて勤務。独立して15年が経過。						

ヘアメイクアーティストに必要な知識と技術の向上で現場で必要な実践力を身につける。
コンテストに向けたクリエイティブなヘアスタイルやブライダル、スチール撮影などで使える技術を身につける。

【学習内容】

技術の基礎を固め、応用できる力をつける。技術を効果的に使えるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアセット道具一式・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/17)	【到達目標】 小テスト0点 オリエンテーション・カールアップを作る・スタイリング剤学ぶ	⑨ (6/19)	【到達目標】 小テスト3点 クリエイティブなヘアスタイルを作る①
② (4/24)	【到達目標】 小テスト3点 道具を効果的に使う(ホットカーラー)	⑩ (6/26)	【到達目標】 小テスト3点 クリエイティブなヘアスタイルを作る②
③ (5/8)	【到達目標】 小テスト3点 道具を効果的に使う(様々な太さのコテ)	⑪ (7/3)	【到達目標】 小テスト3点 クリエイティブなヘアスタイルを作る③
④ (5/15)	【到達目標】 小テスト3点 道具を効果的に使う(応用)	⑫ (7/10)	【到達目標】 小テスト2点 コンセプトと構成を考える
⑤ (5/22)	【到達目標】 小テスト2点 逆毛を効果的に使う(ダウンスタイル)	⑬ (7/17)	【到達目標】 小テスト2点 定期試験 練習①
⑥ (5/29)	【到達目標】 小テスト2点 逆毛を効果的に使う(アップスタイル)	⑭ (8/21)	【到達目標】 小テスト2点 定期試験 練習②
⑦ (6/5)	【到達目標】 小テスト2点 中間チェックに向けて課題の練習	⑮ (8/28)	【定期試験】60 前期定期試験
⑧ (6/12)	【到達目標】 小テスト10点 中間チェック(リボンを作る)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
忘れ物・授業を受ける態度など、小テストより減点			

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ (ヘアメイク研究)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	穴戸優 本間乙葉	講師 プロフィール	メイクアップアトリエは札幌を中心に、CM・広告・TV・撮影現場・ファッションショー・舞台・ドラマ・ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の方々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師を務めるなど多岐にわたる活動をしています。 また、世界4大コレクションである【NYコレクション】のJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイクアーティストに必要な知識と技術の向上で即戦力となる力を身につける。 最新の美容技術、完成、トレンドを学び業界で必要な感性を磨く。									
【学習内容】									
様々なジャンルのメイクを学び、自由な発想・表現力を身に付け作り上げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 4/17	【到達目標】 小テスト2点 オリエンテーション、科目の必要性 立体感なベースメイク・艶肌・ハイカパー・セミアットの作り方 相モデル実技 ベースメイクの重要性を知る				⑨ 6/19	【到達目標】 小テスト2点 フェイスペイントを相モデルで実技②			
② 4/24	【到達目標】 小テスト2点 広告などのジャンル別のメイクを相モデルで練習① ベースメイク復習 指定有				⑩ 6/26	【到達目標】 小テスト2点 コスメブランド別のメイクを相モデルで練習① 指定有			
③ 5/8	【到達目標】 小テスト2点 広告などのジャンル別のメイクを相モデルで実技② ベースメイク復習 指定有				⑪ 7/3	【到達目標】 小テスト3点 コスメブランド別のメイクを相モデルで実技② 指定有			
④ 5/15	【到達目標】 小テスト2点 映画(洋画)のメイクを相モデルで練習① 指定有				⑫ 7/10	【到達目標】 小テスト3点 平成ギャルメイクを相モデルで練習①			
⑤ 5/22	【到達目標】 小テスト2点 映画(洋画)のメイクを相モデルで実技② 指定有				⑬ 7/17	【到達目標】 小テスト3点 平成ギャルメイクを相モデルで実技②			
⑥ 5/29	【到達目標】 小テスト2点 ファッションブランド別のメイクを相モデルで練習① 指定有				⑭ 8/21	【到達目標】 小テスト3点 ダイヤモンド、ビジュ、ジュエリーのメイクをテーマに相モデルでテスト練習① コラーージュ作成			
⑦ 6/5	【到達目標】 ファッションブランド別のメイクを相モデルで実技② 指定有※中間チェック				⑮ 8/28	【定期試験】60 ダイヤモンド、ビジュ、ジュエリーのメイクをテーマに相モデルで実技② コラーージュ提出			
⑧ 6/12	【到達目標】 小テスト2点 フェイスペイントメイクを相モデルで練習①				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物や準備不足、相モデルに対して施術のしづらい言動・行動、 授業運営を妨げる行為などは、自己管理不十分・迷惑行為とし、 小テストの減点対象となります。									

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ (スタイリスト演習)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ファッション専攻			学年	2年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京でスリーのスタイリストとして老若男女問わず、タレント、アーティスト、俳優の方々を担当しCM、映画、ドラマ、バラエティ、雑誌、MV、ショーなど様々な現場に20年程携わる						
【授業を通じての到達目標】									
「ファッション」を具体的に理解し実践に繋がる知識のベースを構築する。 必要な知識や技術、提案する力を身につけファッション業界で即戦力となれるようになる。									
【学習内容】									
様々な方向からのスタイリングを考えアレンジも加えてトータルスタイリングをし新しいものを提案する引き出しを増やし説得力のあるプレゼンテーションができるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・メイク道具一式・トルソー・スマホ又はタブレット・裁縫道具(その									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】小テスト2点 シラバスの確認・授業の流れについて				⑨ (6/19)	【到達目標】小テスト3点 3つの骨格パターンに合わせたスタイリングを組むことができる			
② (4/24)	【到達目標】小テスト3点 年代別ファッションを取り入れたコーディネートが組むことができる				⑩ (6/26)	【到達目標】小テスト3点 骨格を理解し小物も取り入れたトータルコーディネートが完成させることができる			
③ (5/8)	【到達目標】小テスト3点 年代別ファッションを取り入れたコーディネートが組むことができる				⑪ (7/3)	【到達目標】小テスト2点 ショプリサーチに向けて事前準備と計画を立てることができる			
④ (5/15)	【到達目標】小テスト4点 ～年代のファッションを理解しコーディネートが提案することができる(撮影)				⑫ (7/10)	【到達目標】小テスト3点 ショプリサーチ			
⑤ (5/22)	【到達目標】小テスト2点 小物を取り入れた効果を理解しシーンによったアレンジができる				⑬ (7/17)	【到達目標】小テスト3点 ショプリサーチ			
⑥ (5/29)	【到達目標】小テスト3点 小物を取り入れたスタイリングとその提案が出来る				⑭ (8/21)	【到達目標】小テスト3点 ⑩のトータルスタイリングを効果的に魅せる撮影ができる			
⑦ (6/5)	【到達目標】小テスト4点 小物を取り入れたトータルスタイリングが出来る(撮影)				⑮ (8/28)	【定期試験】60 撮影したスタイリングの発表			
⑧ (6/12)	【到達目標】小テスト2点 骨格について理解しその骨格に似合う服や小物を理解することができる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業態度も小テストの点数に反映します。各々でもグループでも視野を広げて積極的に取り組む									

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ (ファッションプランニング)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ファッション専攻			学年	2年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京でフリーのスタイリストとして老若男女問わずタレント、アーティスト、俳優の方々に担当しCM、映画、ドラマ、バラエティ、雑誌、MV、ショーなど様々な現場に20年程携わる						
MV									
「ファッション」を具体的に理解し実践に繋がる知識のベースを構築する。 業界で必要な知識や技術を身につける。									
【学習内容】									
洋服の基本を確認しながら色々な方向からより深くファッションを理解していくことができるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・ノート・ファイル(その他必要なものは講義毎に)					講義内で終わらない作業は持ち帰り提出期限までの宿題とする				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】小テスト3点 自己紹介・シラバスの確認と今後の流れについての説明とアパレル業界について				⑨ (6/19)	【到達目標】小テスト2点 ラグジュアリーブランドを理解することができる(アパレル)			
② (4/24)	【到達目標】小テスト3点 年代別ファッションを理解することができる(1950年～)				⑩ (6/26)	【到達目標】小テスト2点 ラグジュアリーブランドを理解することができる(時計・バック・靴)			
③ (5/8)	【到達目標】小テスト3点 年代別ファッションを理解することができる(～2025)				⑪ (7/3)	【到達目標】小テスト3点 ラグジュアリーブランドを理解することができる(オリジナルノート作成)			
④ (5/15)	【到達目標】小テスト4点 年代別ファッションを理解しそのイメージを表現することができる				⑫ (7/10)	【到達目標】小テスト3点 ショップリサーチ			
⑤ (5/22)	【到達目標】小テスト3点 生地素材、織り方とその特徴を理解することができる				⑬ (7/17)	【到達目標】小テスト3点 ショップリサーチ			
⑥ (5/29)	【到達目標】小テスト3点 生地素材、織り方とその特徴を理解することができる(オリジナル生地サンプル表の作成)				⑭ (8/21)	【到達目標】小テスト3点 定期試験に向け前期振り返りとレポート作成			
⑦ (6/5)	【到達目標】小テスト2点 服のパーツとディテールとその名称を理解できる				⑮ (8/28)	【定期試験】60 発表とレポート提出			
⑧ (6/12)	【到達目標】小テスト3点 シルエット(〇〇ラインなど)を理解し、それを活かした表現ができる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】 忘れ物、授業態度も小テストの点数に反映します。各々でもグループでも									

講義シラバス

科目名	ブライダルコーディネートⅠ	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	川崎みゆき	講師 プロフィール	ウェディングコーディネーターとして、長年勤めてきた教員が、ブライダルの基礎などを 実務から得た経験を交えて講義、新郎新婦を接客する際の心構えと一般的で基本的な 結婚式の実習を実施する						
【授業を通じての到達目標】									
ブライダルに関する質の高い知識を多方面から学び、技術力の向上と理解を深める。									
【学習内容】									
ブライダルに関する幅広い分野の知識を座学や実践、体験を通して学ぶ。接客する際の心構えやチームで一つのものを作り上げる実習を通して、ブ ライダルへの理解を深める。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (4/15)	【到達目標】 オリエンテーション。ブライダルの基礎を知る。			⑨ (6/24)	【到達目標】 衣装・ドレス ウェディングドレスについて学ぶ。ラインだけでなく、フィッティング、所 作などを実際にドレスを着て体験してみる。 ●実技 ドレスフィッティング				
② (4/22)	【到達目標】 欧米の結婚式について学ぶ。文化やしきたり、慣習などを知ることで接客時や新しい 提案に繋げる。			⑩ (7/1)	【到達目標】 衣装・和装 結婚式における和装について学ぶ。小物の名前や、男性和装など、実 際に触れて体験してみる。 ●実技 白無垢、紋付袴など				
③ (5/13)	【到達目標】 教会見学 実際の教会を訪れる。会場見学、現場の話を聞く。/ 映画鑑賞 前回の授 業を踏まえて、欧米の結婚式のイメージを得る。			⑪ (7/8)	【到達目標】 ペーパーアイテム、結婚式にまつわるマナーについて学ぶ。招待状や、その他の結婚 式で用いられるペーパーアイテムを知り、また結婚式のマナーについても深く理解す る。 ●制作 ウェルカムアイテム				
④ (5/20)	【到達目標】 教会見学 実際の教会を訪れる。会場見学、現場の話を聞く。/ 映画鑑賞 前回の授 業を踏まえて、欧米の結婚式のイメージを得る。			⑫ (7/15)	【到達目標】 挙式、披露宴について学ぶ。挙式や披露宴の進行、演出、スケジュールの組み立て 方などを知り、後期の実戦の下準備をする。				
⑤ (5/27)	【到達目標】 日本の結婚式について学ぶ。日本における結婚の文化を学ぶ。文化やしきたり、慣習 などを知ることで、接客時や新しい提案などを行う際の自信をもつことができる。 ●制作、、、水引			⑬ (8/19)	【到達目標】 アテンド、当日業務 コーディネーター、アテンドなどの当日業務について学ぶ。後期 の実戦での当日の動きをスムーズに行えるよう理解する。				
⑥ (6/3)	【到達目標】 キャンドルについて学ぶ。講師をお招きして、結婚式の演出に使われるキャンドルに ついて学ぶ。 ●カメラマキャンドルから講師をお呼びする。			⑭ (8/26)	【到達目標】 前期まとめ。定期試験に向けて、前期で学習した内容をまとめ理解を深める。				
⑦ (6/10)	花、ブーケ ウェディングシーンに欠かせない花について学ぶ。ブーケの形や装飾のポ イント、花の扱いについて学ぶ。 ●制作 ブートニア			⑮ (9/2)	【定期試験】60 定期試験				
⑧ (6/17)	【到達目標】 写真、映像、司会、音響、BGMの役割、照明などについて学ぶ。			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									